

## グランドマスターズ国際大会 大会要項

### フランクフルト/メイン、ドイツ

#### テクニカル情報

- 1 本大会は IJF 大会であり、ドイツ柔道連盟によって開催運営される。
- 2 日程： 2011 年 6 月 16 日～19 日
- 3 大会はフランクフルトで開催される。  
会場： Sport- und Freizeitzentrum Kalbach  
Am Martinszehnten 2, 60437 Frankfurt/Main (Germany)
- 4 大会公式ホームページ： [www.wc-frankfurt-2011.de](http://www.wc-frankfurt-2011.de)
- 5 参加資格  
本大会への参加資格として、参加者個人は以下のすべての条件を満たしていなければならない。
  - a) 2011 年 1 月 1 日の時点で、最低年齢 30 歳
  - b) 現在 IJF に加盟している国家連盟により発行された、有効なライセンス（メンバー登録）を保持していること
  - c) 本文書で定められている締切日までに、適切なエントリー料金を全て支払うこと
  - d) レジストレーション時に、正しく登録（チェックイン）を行うこと（レジストレーションの日時スケジュールを参照）
  - e) 規定にある、特定の計量条件を満たしていること
  - f) 有効なパスポート、もしくは国の ID カードを使って、生年月日と身分を証明する写真付の証明書を提示すること
  - g) 2011 年 6 月 16 日より前に、国の代表の一員として、国際シニアレベルの大会にナショナルチームの代表メンバーとして出場していないこと
  - h) 選手の正確な国籍は、現在のパスポートもしくは現在の国の ID カードに記されているものであるとする。選手は、1 つの国からのみ出場することができ、国籍を変えている場合、2011 年 6 月 16 日より前の 1 年間、出場できない期間を過ごしていることが条件であるが、両国内連盟(国籍を変える前と変えた後の)が承認したという書類をもっており、IJF の **SOR** に沿っていれば、その限りではない。  
もしこのケースである場合は、証拠の書類をエントリーの際に提出すること。
  - i) すべての選手は、大会前に、健康診断を受けてくることが推奨される。

## 6 保険

選手は必ず、怪我や民事責任に対して、柔道の大会に参加することを除外していない旅行保険、もしくは特定の保険に個人的に加入していること。もしくは、自国の連盟が掛ける保険に加入していること。各選手は、大会期間中は必ずドイツの特別健康保険を購入しなければならない。IJF 及びその関係者も、ドイツ柔道連盟及びその関係者も、大会に参加することによる、遺失、怪我、死亡に対する一切の責任を負わない。

## 7 年齢と試合時間

### 7.1 年齢区分

女子	男子	誕生年
F1	M1	1981－1977
F2	M2	1976－1972
F3	M3	1971－1967
F4	M4	1966－1962
F5	M5	1961－1957
F6	M6	1956－1952
F7	M7	1951－1947
F8	M8	1946－1942
F9	M9	1941－1937
F10	M10	1936－1932
F11	M11	1931－

### 7.2 試合時間

年齢幅	年齢区分	試合時間
30－59 歳まで	M1/F1 ～ M6/F6	3 分
60 歳以上	M7/F7 以上	2.5 分

上記の時間は個人戦、団体戦ともに適用する。

## 8 階級と年齢区分(団体戦)

男子 5 人制 階級： -66kg/-73kg/-81kg/-90kg/無差別

年齢区分： M1&M2、M3&M4、M5&M6

男子 3 人制(60 歳以上) 階級： -73kg/-90kg/無差別

年齢区分： M7 以上

女子 3 人制(全てのチームが以下の区分分け) 階級 : -57kg/-70kg/無差別  
年齢区分 : F1&F2、 F3&F4、 F5 以上

#### 9 個人戦階級(公式 IJF 階級)

女子 : -48kg; -52kg; -57kg; -63kg; -70kg; -78kg; +78kg

男子 : -60kg; -66kg; -73kg; -81kg; -90kg; -100kg; +100kg

#### 10 団体戦フォーマット

団体戦に参加するチームは、レジストレーションから大会期間中に、団体戦エントリーシートに記入・署名し、レジストレーションに提出しなければならない。尚、エントリーは遅くとも 2011 年 6 月 18 日(土)12:00 までにすること。

一度、エントリーシートが受理された場合、変更や選手の追加は認められない。

団体戦は、7 つのカテゴリーに分けられる。男子 4 つ、女子 3 つで、それぞれ異なる年齢区分に分けられる。

TM1 (M1+M2)---5 人制

TM3 (M3+M4)---5 人制

TM5 (M5+M6)---5 人制

TM7 (M7 以上)---3 人制

TF1 (F1+F2)---3 人制

TF3 (F3+F4)---3 人制

TF5 (F5 以上)-3 人制

全ての団体戦に出場する選手も、控えの選手も、現在のパスポートもしくは国の ID カードを最終 ID 確認として団体戦に出場する前にマットの上で審判員に個々に見せなくてはならない。

チームの全ての選手(控えの選手も)の氏名と適切な階級を、2011 年 6 月 18 日(土)10:00~12:00 までに登録用紙を提出しなければならない。

抽選は 6 月 18 日(土)の 16:30 に行われる。

この大会では、選手は 1 つのチームでしか戦うことが出来ない。

控えの選手は試合をしなければ、メダルを受け取ることが出来ない。

年齢の高い区分の選手は、年齢の低い区分の試合に出てもよい。

選手は自身の階級区分より重い階級区分の試合に出てもよい。

各連盟は、何チームでもエントリーさせることが出来る。もし、1つの国が複数のチームをエントリーする場合は、チーム1・チーム2・・・と表示される。

団体戦の試合結果は、それぞれの試合の勝利数によって決まる。全ての試合は勝ち負けを決め、必要であればゴールデンスコア(団体戦は1分間)を行う。

男子5人制の場合、エントリーを有効にするためには、少なくとも4人の選手が最初の試合の時にマット上にいなければいけない。

男女とも、3人制の場合、エントリーを有効にするためには、少なくとも3人の選手が最初の試合の時にマット上にいなければならない。

試合開始後、怪我による選手数の減少は受け入れる。控えの選手が既に適切な階級にエントリーされていた場合、その選手は出場することができる。

チームは各階級に1人、控え選手を用意することが出来る。控え選手は、各試合の前に審判によって適正に確認されれば、制限されることなく置き換えることも、再び出場することもできる。

チームは、自国の連盟に所属していない違う国の選手を、ゲスト選手として1人まで使うことが許される。

登録手続きはしていないが、団体戦に出場を希望する選手は、エントリー締め切りの2011年6月18日(土)12:00までに、登録係と連絡を取り、計量のためにマネージャーまたはキャプテンと一緒に来ること。

団体戦に参加する選手は、本大会の個人戦のために計量を行い出場した階級か、もしくは、それより上の階級にのみ出場することが出来る。

最初の試合が始まる際は、階級の軽い方からマット上に並ぶこと。

各チームは大会中に選手を管理するため、また大会役員や審判員に必要な応じて協力するため、チームキャプテン、マネージャー、もしくはコーチを付けるべきであ

る。担当者は、チームシートを締め切りまでにレジストレーションへきちんと提出し、控え選手の管理、チームの規律、試合場での礼法、選手の有効なパスポート・IDカードの確保において責任を持つこと。

チームは、全ての試合が終わる前に結果が分かっていたとしても、全試合を行わなくてはならない。試合を棄権した選手は、その後続くその日の残りの試合に出場してはならない。ただし、控えの選手をその選手に替えて出場させることは出来る。

団体戦では、きちんと IJF の礼法と試合場での所作を守ること。

#### 11 ゴールデンスコア

このルールは、全ての個人戦と団体戦で適用される。ゴールデンスコアの長さは、個人戦では M1/F1~M6/F6 まだが 2 分、個人戦の M7/F7 以上と、団体戦のすべての年齢区分で 1 分とする。

#### 12 大会ルール

試合時間とゴールデンスコアの変更点を除いて、IJF の大会ルールが適用される。各連盟から個人戦への出場者の人数制限はない。

#### 13 予選システム

大会方式は、以下の通り、エントリー人数によって異なる。

エントリー1名 試合なし（もしくはカテゴリーを統合する）

エントリー2名 3 試合行う。（もしくは、カテゴリーを統合する）

エントリー3名 3 選手の総当り戦、もしくは階級統合

エントリー4名 4 選手の総当り戦

エントリー5名 5 選手の総当り戦

エントリー6名 3 選手ずつ総当り戦を行い、各上位 2 名が交差して準決勝を行う

エントリー7名 3 選手と 4 選手に分かれて総当り戦を行い、各上位 2 名が交差して準決勝を行う

エントリー8名以上 ダブルレペチャージ敗者復活ありのトーナメント方式

団体戦の予選システムに関しては、各カテゴリーの出場するチーム数によって決まる。

カテゴリーの統合はしない& 2 チームのみの出場の場合は 1 試合で勝敗が決まる、という点を除いて、個人戦と同じシステムで行う（前述参照）。4 チームのみの場合、銅メダルは 1 組のみ授与される。各カテゴリーの試合は一日で行われる。

#### 14 メダル

メダルは、一つのカテゴリーにおいて試合が行われ、実際に試合をした選手や団体戦におけるチームの数によって授与される。

参加選手 1 名 メダルなし

参加選手 2 名 2 つのメダル

参加選手 3 名 3 つのメダル

参加選手 4 名 3 つのメダル

参加選手 5 名 3 つのメダル

参加選手 6 名以上 4 つのメダル

団体選も個人戦と同じようにメダルが割り当てられる。

(たとえば、4 チームしかエントリーがなかった場合、金・銀と銅がそれぞれ 1 組のみ与えられる=3 つのメダル)

もし、選手が、統合されたカテゴリーにおいて試合を行った場合、メダルはそれぞれ 1 組のみ授与される。

#### 15 シード

個人戦において、前年のワールドマスターズでメダルを獲得した選手で、且つ、今年も同じ年齢区分・階級区分に出場する場合のみ、シードを与える。

前年のメダリストがシードされたのち、一回戦で同じ国の選手が当たらないように分ける。

団体戦は、昨年のブタベストで決勝に進んだチームが当たらないように分ける。

#### 16 女子選手

女子選手は、透けない白の短い袖の T シャツを着なければならない。ブラジャーは硬い物質（金具等）があってはならない。長髪の場合は、試合中に乱れないように結ばなくてはならない。化粧やアクセサリーの着用は認められず、爪は短く切ること。

#### 17 柔道衣

白と青の柔道衣を必ず両方持参すること。

#### 18 ゼッケン

選手は IJF のゼッケンか、これらの大会用の特定のゼッケンを使うことが出来る。これらのゼッケンを希望する選手は、2011 年 5 月 21 日までに注文する必要がある。費用を払えば、会場で縫いつけることも出来る。

## 19 アンチドーピング

ドーピングコントロールはない。

## 20 計量

公式計量は、全てのカテゴリーにおいて、試合の前日に行われる。

(詳しくは、スケジュール表で確認すること)

非公式計量用の体重計は、大会期間中、準備されている。

(レジストレーションの際に、体重計の設置場所や、使用できる時間帯を確認すること)

公式計量のルールは下記の通り。

レジストレーションの際に選手に発行される **IJF** アクレディテーションカードは、公式計量に必ず持参しなくてはならない。

公式計量の際、選手の確認をするために、このカードと現行のパスポート、または、国が発行している **ID** カードも持参すること。

エントリーしていた階級の計量に失敗した場合、その選手は、予定していた階級よりも上のふさわしい階級の試合に出場することが許される。(しかし、いかなる年齢区分や階級も、統合して行われる場合がある。)

団体戦に出場する選手で、前もって計量を行っていない選手は、必ず 2011 年 6 月 18 日(土)の 10:00~12:00 までに登録係と連絡を取ること。

公式計量終了後に現れた選手は、大会に出場することが出来ない。

## 21 カテゴリー統合

**IJF** のテクニカル役員は、主催者の代表に、カテゴリー統合ポリシーの権限を委ねる。このポリシーは個人戦にのみ適用される。

カテゴリー統合の対象となるのは、エントリーが **3** 名以下の階級のみ。

しかしながら、**3** 名のみエントリーの場合、もしカテゴリー統合で安全に支障をきたす場合は、ガイドラインに沿って、**3** 人の総当たり戦で予選を行うことも考慮される。

#### A) 同じ年齢区分での統合

可能であれば、選手は、自分が属する年齢区分に残ること。

#### B) 同じ階級区分での統合

階級一階級の統合は、一つ軽い階級か、もしくは一つ重い階級のみとすること。  
女性及び男性それぞれのカテゴリーにおいて、一番軽い階級、もしくは一番重い階級が関係する場合、特別な配慮がなされる。

(ガイドラインでは、一番軽い階級を統合した場合では最大体重差 **10kg** まで、一番重い階級を統合した場合は、最大体重差は **20kg** まで、ただし経験などを考慮して例外を認める場合もある。)

下記の年齢区分のガイドラインに従って、同じ年齢区分の中で階級が統合された場合、もしくは他の年齢区分と統合された場合、体重が第一に考慮される。

#### C) 年齢区分

**M7/F7** もしくはそれ以上の年齢区分の選手の統合は、年齢区分が **1** つ上か、もしくは **1** つ下の年齢区分のみとなる。たとえば、**M7/F7** の選手は **M6/F6** か **M8/F8** の年齢区分との統合となる。

**M6/F6** の区分が統合される場合、**1** つ上か、もしくは **2** つ下までの区分となる。たとえば **M7/F7**、もしくは **M5/F5-M4/F4** との統合となる。

**M5/F5** の区分が統合される場合、**1** つ上か、もしくは **2** つ下までの区分となる。たとえば **M6/F6**、もしくは **M4/F4-M3/F3** との統合となる。

**M4/F4** の区分が統合される場合、**2** つ上か下までとなる。たとえば、**M3/F3-M2/F2**、**M5/F5-M6/F6** までとなる。

**M3/F3** の区分が統合される場合、**2** つ上か下までとなる。たとえば、**M1/F1-M2/F2**、**M4/F4-M5/F5** までとなる。

**M2/F2** の区分が統合される場合、**2** つ上か、**1** つ下までとなる。たとえば、**M1/F1**、**M3/F3-M4/F4** までとなる。

**M1/F1** の区分が統合される場合、**2** つ上までとなる。たとえば、**M2/F2-M3/F3** までとなる。



年齢区分	統合上限	統合下限
M1/F1	M2/F2-M3/F3	なし
M2/F2	M3/F3-M4/F4	M1/F1
M3/F3	M4/F4-M5/F5	M1/F1-M2/F2
M4/F4	M5/F5-M6/F6	M2/F2-M3/F3
M5/F5	M6/F6	M3/F3-M4/F4
M6/F6	M7/F7	M4/F4-M5/F5
M7/F7	M8/F8	M6/F6
M8/F8	M9/F9	M7/F7
M9/F9	M10/F10	M8/F8
M10/F10	M11/F11	M9/F9
M11/F11	M12/F12	M10/F10

## 22 抽選

個人戦の抽選は、各階級の試合が行われる日の前日 19:00 に行われる。

抽選に関する個人戦・団体戦の情報は、レジストレーションの場所に掲示される。

計量をパスした選手のリストが、抽選の少なくとも 30 分前までに、抽選会場の外に貼り出される。各国の役員は、リストにあるべき人が、適切な年齢区分、且つ適切な階級の箇所に掲載されているかを確認すること。

アクレディテーションを得ている役員は、抽選に出席する権利を持つ。

団体戦の抽選は、2011 年 6 月 18 日(土)の午後に行われる。時間と場所に関しては、レジストレーションにて通知される。

正式な抽選終了後は、選手の変更や追加を認めない。

## 23 審判員

資格レベル—審判員は IJF の A、もしくは B ライセンスを所持しているか、各国国内の最高レベルの A ライセンスを持っていること。

各国連盟は 2 人の審判員をエントリーすることができる。大会に参加する連盟は、少なくとも 1 人の審判員を帯同しなくてはならないが、2 人まで帯同させてもよい。主催する国の連盟は 5 人かそれ以上の審判員を参加させることができる。各国連盟によって指名された審判員だけが参加することができる。

費用—各国連盟は、自国が指名した審判員の旅費・宿泊費・食費の全てを支払う責任がある。

会議—審判会議は 2011 年 6 月 15 日の 18:00(水)より行われ、全ての審判員が参加しなければならない。審判会議は、大会会場にて行われる。

ルール—本大会では、試合時間とゴールデンスコアの時間の変更以外、IJF 大会ルールを適用する。

審判員登録—2011 年 5 月 13 日までに Form 1 を大会組織委員会に送ること。

## 24 エントリー

エントリーは、大会申込書に記入の上、5 月 11 日必着で全日本柔道連盟に FAX または Email、郵送すること。

〒112-0003 東京都文京区春日 1-16 - 30 講道館 5 階 全日本柔道連盟 国際課宛  
TEL:03-3818-5009(国際課直通番号) FAX:03-3812-3995 Email:ajjf@judo.or.jp

### 24.1 参加費

参加費は個人戦 1 人、€100 で、支払い後の参加費の返金はできない。

また、必ず試合を行う日に、€5 の特別健康保険代を支払わなければならない。

参加費は 2011 年 5 月 21 日までに支払うこと。この日を過ぎると、レイトエントリー料として€150 となる。締め切り後、24 時間を過ぎると、公式サイトにエントリーリストが表示される。

団体戦の参加費は、TM1/TM3/TM5 は 1 チーム€250、TM7/TF1/TF3/TF5 は 1 チーム€150。

オンラインエントリーシステムでは、1 つの名前で 1 チームのみエントリーでき、€105 の前払い金を支払うこと。残りの金額は登録の際に支払うこと。大会期間中も団体戦のエントリーは可能である。ただし、2011 年 5 月 21 日の締め切り後にエントリーする場合は 1 チームにつき€50 上乗せして払わなければならない。2011 年 6 月 18 日 12:00 以後は、エントリー不可。

### 24.2 プレミアム費

プレミアム大会費：参加者は下記のスペシャル大会パッケージを買うことができる。

—世界選手権 T シャツ 1 枚

—大会の参加証 1 枚

—ピン 1 つ

—ステッカー 1 枚

ーバッジ 1つ

ーマスコット 1つ

このパッケージは、エントリーと一緒に€45で購入することが出来る。  
大会会場でも€57で購入することが出来るが、数に限りがあるものもある。

プレミアム・ゼッケン

各参加者は名前・国名入りの世界選手権特別ゼッケンを1枚€20で注文することが出来る。ゼッケンは、エントリーと一緒に事前に注文すること。

## 25 帯同者

各選手は、大会会場の試合エリアに選手と帯同する人用のアクセディテーションを購入することが出来る。このカードは€15で購入でき、大会期間中使用できる。カードはエントリーと一緒に直接注文することができる。選手に帯同することを希望する者は、入場券の代わりとして、このアクセディテーションカードを購入しなくてはならない。

## 26 レジストレーション

全ての参加者は出来るだけ早くレジストレーションに来ること。

レジストレーションの時間は以下の通り。

6月13日 11:00-17:00

6月15日 11:00-19:00

6月16日 10:00-15:00

6月17日 10:00-12:00(団体戦のみ)

ここで、大会について全ての情報を得ることが出来る。

アクセディテーション、プレミアムパッケージ費、ゼッケン、交流活動など。

レジストレーションの時間を確認すること。レジストレーションに現れた選手のみ、本大会に出場することが出来る。団体でのレジストレーションは可能。

## 27 輸送

主催者からの輸送サービスはない。フランクフルトの公共機関を利用して、大会会場やホテルに行くことが出来る。

空港名：フランクフルト(FRA)

駅名：フランクフルト HBF

会場最寄り地下鉄駅名：Kalbach (U2)

以上